

試験報告書

依頼者 株式会社 ポジティブリスト

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検体 除菌消臭剤 チャーミスト 100ppm

表題 殺菌効果試験

2017 年(平成 29 年)10 月 12 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

殺菌効果試験

1 依頼者

株式会社 ポジティブリスト

2 検体

除菌消臭剤 チャーミスト 100ppm

3 試験概要

検体に試験菌液を接種後(以下「試験液」という。), 所定時間後に試験液中の生菌数を測定した。また, あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い, 検体の影響を受けずに生菌数を測定できる条件を確認した。

4 試験結果

結果を表-1, 試験条件を表-2に示した。また, 培養後の生菌数測定平板を写真-1~5に示した。

なお, 試験液をSCDLP培地で希釈することにより, 検体の影響を受けずに生菌数の測定ができることを予備試験(表-2 中和条件を参照)により確認した。

表-1 試験液の生菌数測定結果

試験菌	対象	生菌数(/mL)			
		開始時	15秒後	30秒後	60秒後
大腸菌 (O157:H7)	検体	—	<10	<10	<10
	対照	5.6×10^5	—	—	5.2×10^5

<10 : 検出せず

保存温度 : 室温

対照 : 精製水

表-2 試験条件

試験菌液	試験菌	<i>Escherichia coli</i> ATCC 43895 (大腸菌, 血清型O157:H7, ペロ毒素 I 及び II 型産生株)	
		前培養: 普通寒天培地[栄研化学株式会社], 35 °C ± 1 °C, 18~24時間 菌液調製溶液: 精製水 菌数: 10 ⁷ ~10 ⁸ /mL	
試験液	検体10 mLに試験菌液0.1 mLを接種		
保存条件	15秒, 30秒, 60秒(室温)		
対照	精製水		
中和条件	SCDLP培地[日本製薬株式会社]で10倍希釈		
生菌数測定	SCDLP寒天培地[日本製薬株式会社], 混釈平板培養法	35 °C ± 1 °C, 2日間	



写真-1 大腸菌(O157:H7) 対照 開始時
(試験液 0.1 mL)



写真-2 大腸菌(O157:H7) 検体 15秒後
(試験液 0.1 mL)

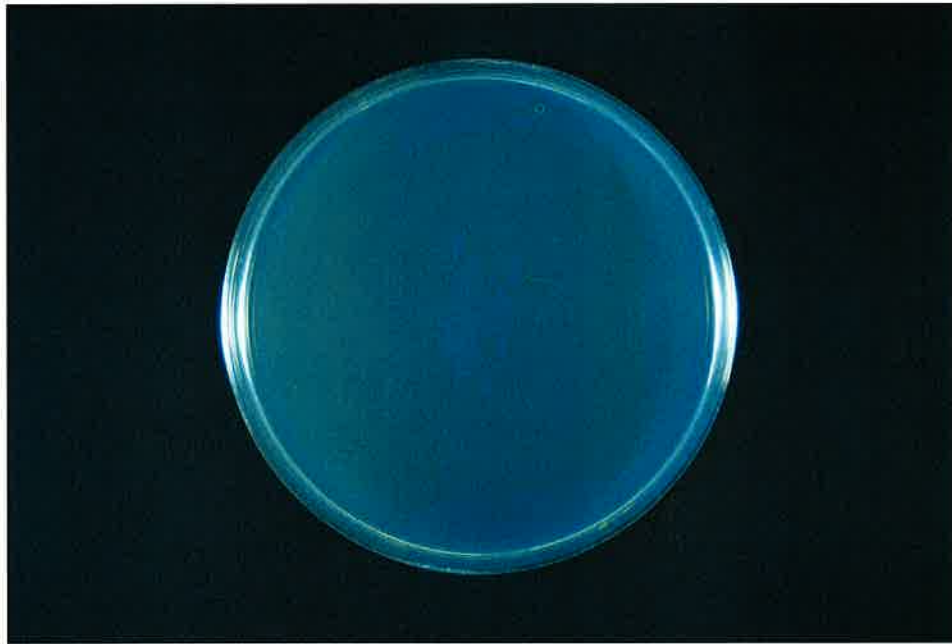


写真-3 大腸菌(O157:H7) 検体 30秒後
(試験液 0.1 mL)



写真-4 大腸菌(O157:H7) 検体 60秒後
(試験液 0.1 mL)

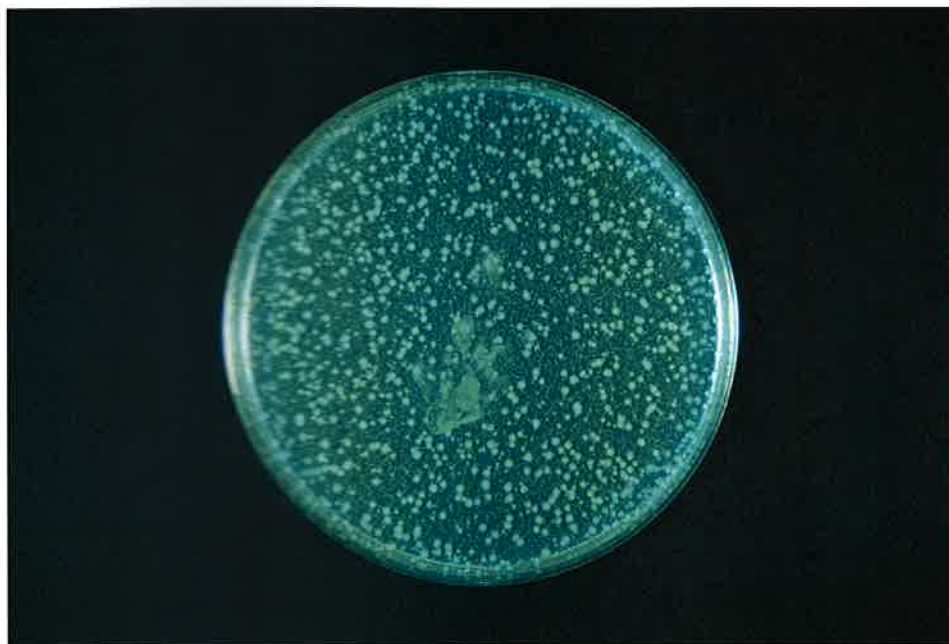


写真-5 大腸菌(O157:H7) 対照 60秒後
(試験液 0.1 mL)

以 上